

令和4年度
香川県

若年性認知症自立支援ネットワーク会議・研修会

ご本人や支援者より、ご報告をいただき、若年性認知症の人の働き方や役割づくりを、自分たちならばどのような支援が行えるか、皆さんと考えたいと思います。

日 時

令和5年2月10日(金) 13:30～16:00

開催方法

リモート(Zoom)



内 容

(1) 若年性認知症自立支援ネットワーク会議

・「香川県における認知症施策について」

香川県健康福祉部長寿社会対策課 課長補佐 加古 詳平

・「香川県若年性認知症支援相談活動について」

香川県若年性認知症支援コーディネーター 吉見 篤人

・「若年性認知症を発症した人への就労支援事例(障害者職業センターの取り組み)」

香川障害者職業センター 半田 真貴子

(2) 若年性認知症自立支援ネットワーク研修会

・「就労、そして仲間とともに～認知症とともによりよく生きるために～」

徳島県立埋蔵文化財総合センター 島田 豊彰
徳島県若年性認知症支援コーディネーター 大下 直樹

(敬称略)

・意見交換

【お問い合わせ】 香川県若年性認知症支援相談窓口(担当:吉見)

TEL:080-4719-5073

FAX:087-879-1080

※本事業はいわき病院が「若年性認知症支援コーディネーター事業」として香川県から受託し、実施しています。

研修会講師の御紹介

○島田 豊彰(しまだ とよあき)さん

大阪府出身。徳島県立埋蔵文化財総合センターに勤務し、埋蔵文化財調査や発掘現場の指揮や研究に従事する。

2020年の48歳の時に、アルツハイマー型認知症の診断を受け、上司とこれからの仕事について相談した。自転車で通勤できるよう配置転換がなされ、現在も、仕事を継続している。

当事者活動のメンバーとしても、活動中である。

○大下 直樹(おおした なおき)さん

徳島県出身。埋蔵文化財調査員、民間企業を経て、知的障がいをもつ弟の影響で、30歳を機に福祉の世界へ転職する。知的障害者支援施設で勤務した後、特別養護老人ホームで相談員として徳島県委託の認知症高齢者処遇技術研修事業に関わる。その後、社会福祉士の資格を取得。社会福祉士として独立し、高齢者や障がい者の権利擁護活動に尽力し、地域で様々な人権相談や講演などを行っている。

現在、認知症の人と家族の会徳島県支部の代表を務め、平成28年度から、徳島県より若年性認知症支援コーディネーターの委託を受け、活動中である。

